

オックスファム・ワークショップ

構造から考える世界の貧困



OXFAM
Japan

ワークショップについて

- 2006年にオックスファム・インターナショナルがウォーターエイドとともに作成した「公共の利益のために」という報告書を元に製作
- 途上国と先進国のそれぞれの役割シートをもとに個々人が抱える課題とその関係性を考え、先進国における一人ひとりが行える活動を考える

注 本ワークショップで紹介する事柄は、事実をもとにしているものの、すべての地域に当てはまるというわけではありません。

ワークショップの目的

貧困を構造的に理解し、問題解決のために一人ひとりが最も影響力を行使できる方法を考える。

イントロダクション



OXFAM
Japan

社会を変える3つの条件

【コミュニティから変化を起こす際の必要な要素】

•Head

構造理解:自分自身と問題/課題の関係性に対する理解

問題/課題の原因は何か?なぜ解決されないのか?誰が解決行動の意思決定者なのか。意思決定者に対して私たちはどのように影響力を行使できるか?

•Heart

問題意識:なぜ問題/課題の解決をしたいかという明確な問題意識

他者の問題/課題にどう向き合うのか、なぜ傍観者のままではなく、変化に向けた行動をとるのか、自分自身の行動を位置づける価値観は何か?

•Hand

周囲を巻き込む方法:周囲の人々の共感を得て、活動へ巻き込む力

多くの人々の共感を獲得し、仲間を得るためにどのような点に注意し、どういった方法・媒介があるのか?



社会を変える3つの条件

【コミュニティから変化を起こす際の必要な要素】

•Head

構造理解:自分自身と問題/課題の関係性に対する理解

問題/課題の原因は何か?なぜ解決されないのか?誰が解決行動の意思決定者なのか。意思決定者に対して私たちはどのように影響力を行使できるか?

•Heart

問題意識:なぜ問題/課題の解決をしたいかという明確な問題意識

他者の問題/課題にどう向き合うのか、なぜ傍観者のままではなく、変化に向けた行動をとるのか、自分自身の行動を位置づける価値観は何か?

•Hand

周囲を巻き込む方法:周囲の人々の共感を得て、活動へ巻き込む力

多くの人々の共感を獲得し、仲間を得るためにどのような点に注意し、どういった方法・媒介があるのか?



自己紹介



OXFAM

Japan

自己紹介

- 5人のグループごとに「お名前」、「ご所属(任意)」、「自分の担当役割」をご紹介ください

*学年は言わないようにしてください。

- 自己紹介の時間は一人30秒以内でお願いします

*数が合わない場合は、2人で一つの役割シートを担当するなど調整してください。

ロールプレイングゲームの開始



OXFAM

Japan

役割シートを読み込み

- 「他の登場人物との関係性」「抱えている課題」には何があるか着目し、役割シートを読みましょう。
- 時間が余った方は、他の登場人物との関係性を書き出しましょう
- 読み込み時間は5分

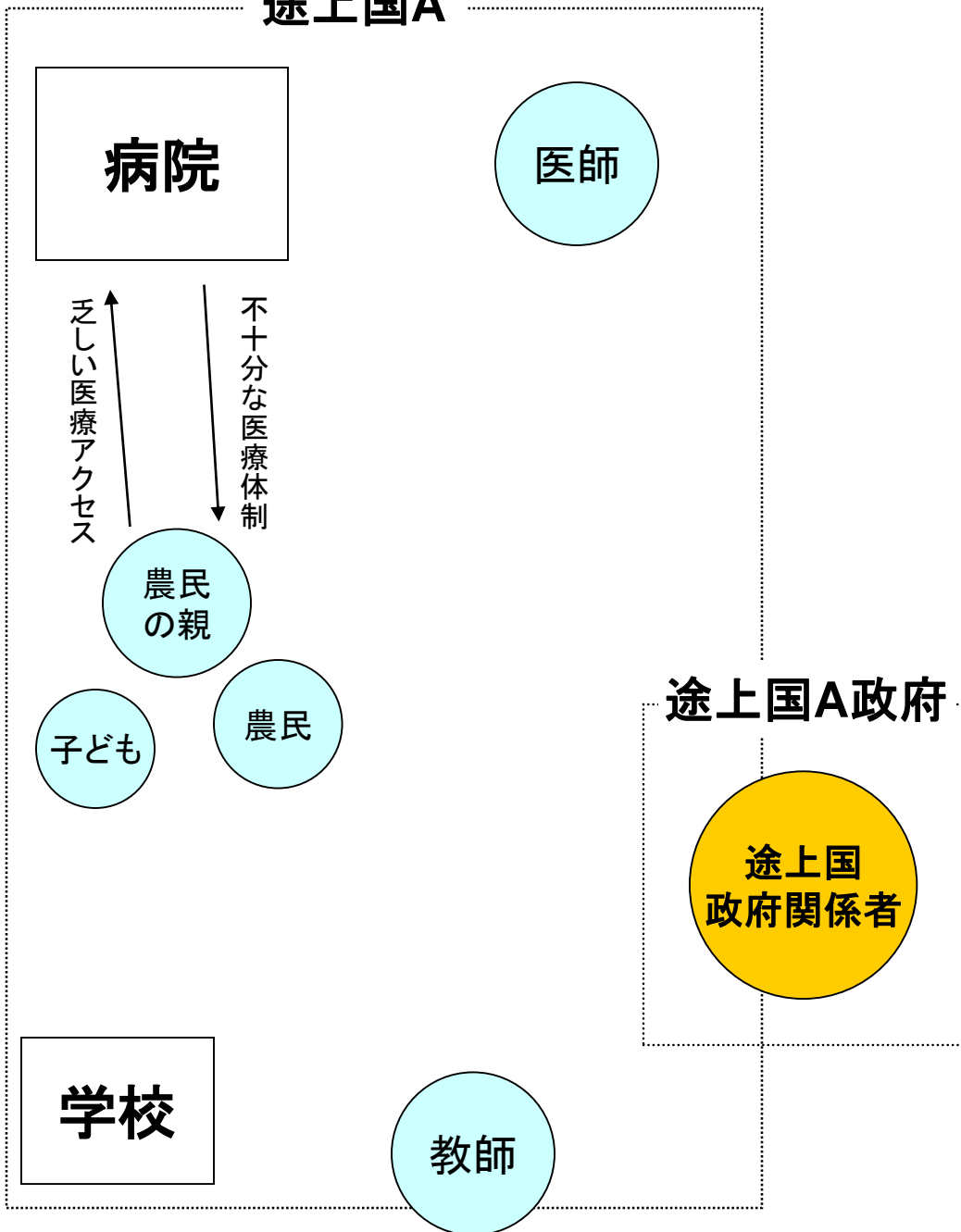
グループ・ディスカッション

- グループ内の他のメンバーに自分が担当した役割が抱えている課題と他の登場人物との関係性を共有してください
(「医師」→「農民」→「教師」→「途上国政府関係者」→「B国政府ODA担当者」の順にご紹介ください)
*一人当たり90秒です。
- 自分の役割シートと他の登場人物の関係性に着目して、他の人の話を聞きましょう

グループワーク

- 「役割シートが抱えている課題」と「それぞれの役割シートの関係性」に着目して、関係図を書きましょう。
- 1.登場人物を書き出しましょう。
 - 2.それぞれの関係性と課題を書きましょう。

途上国A



先進国B

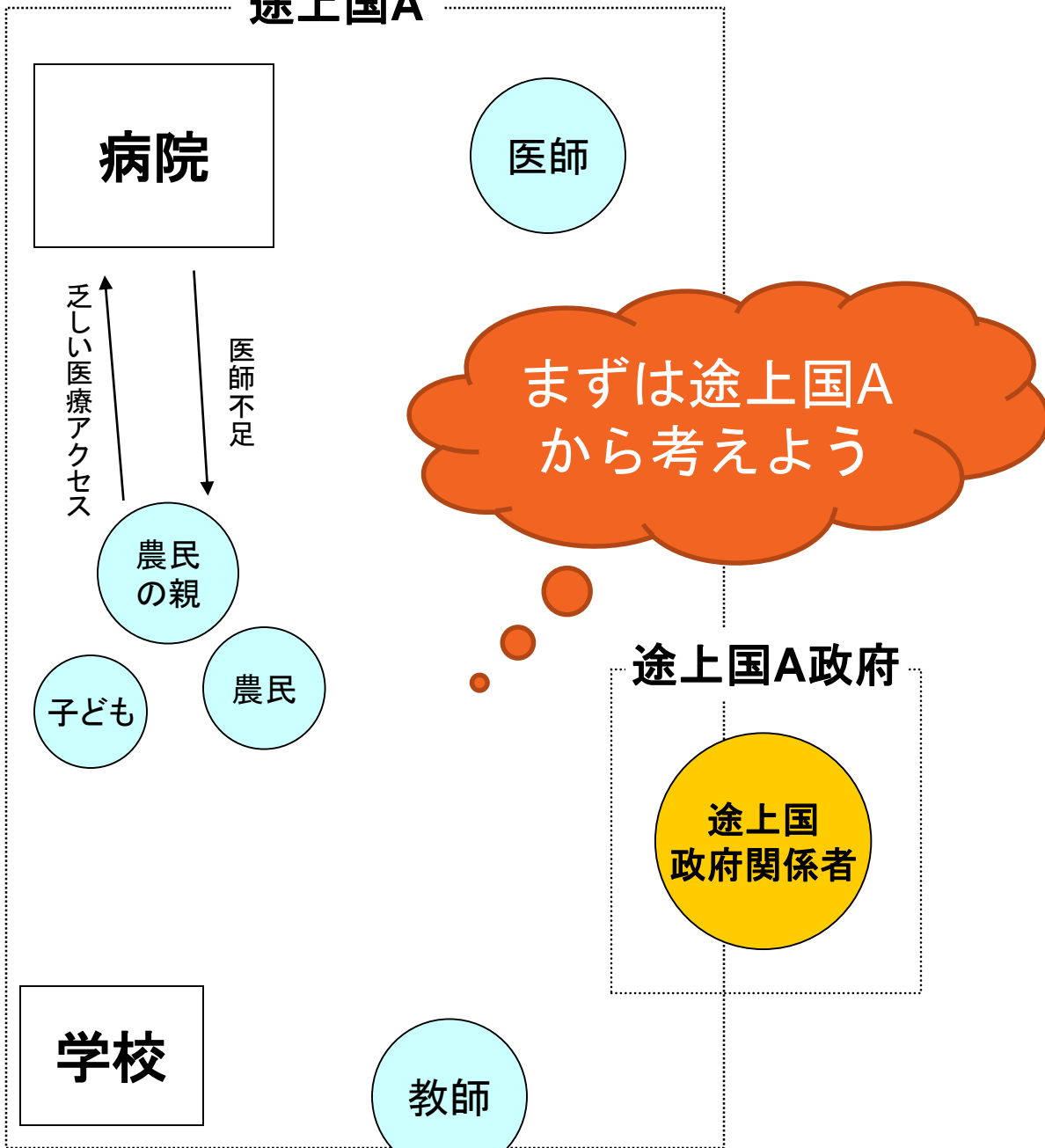


グループワーク

- 「役割シートが抱えている課題」と「それぞれの役割シートの関係性」に着目して、関係図を書きましょう。
- 1.登場人物を書き出しましょう。
 - 2.それぞれの関係性と課題を書きましょう。

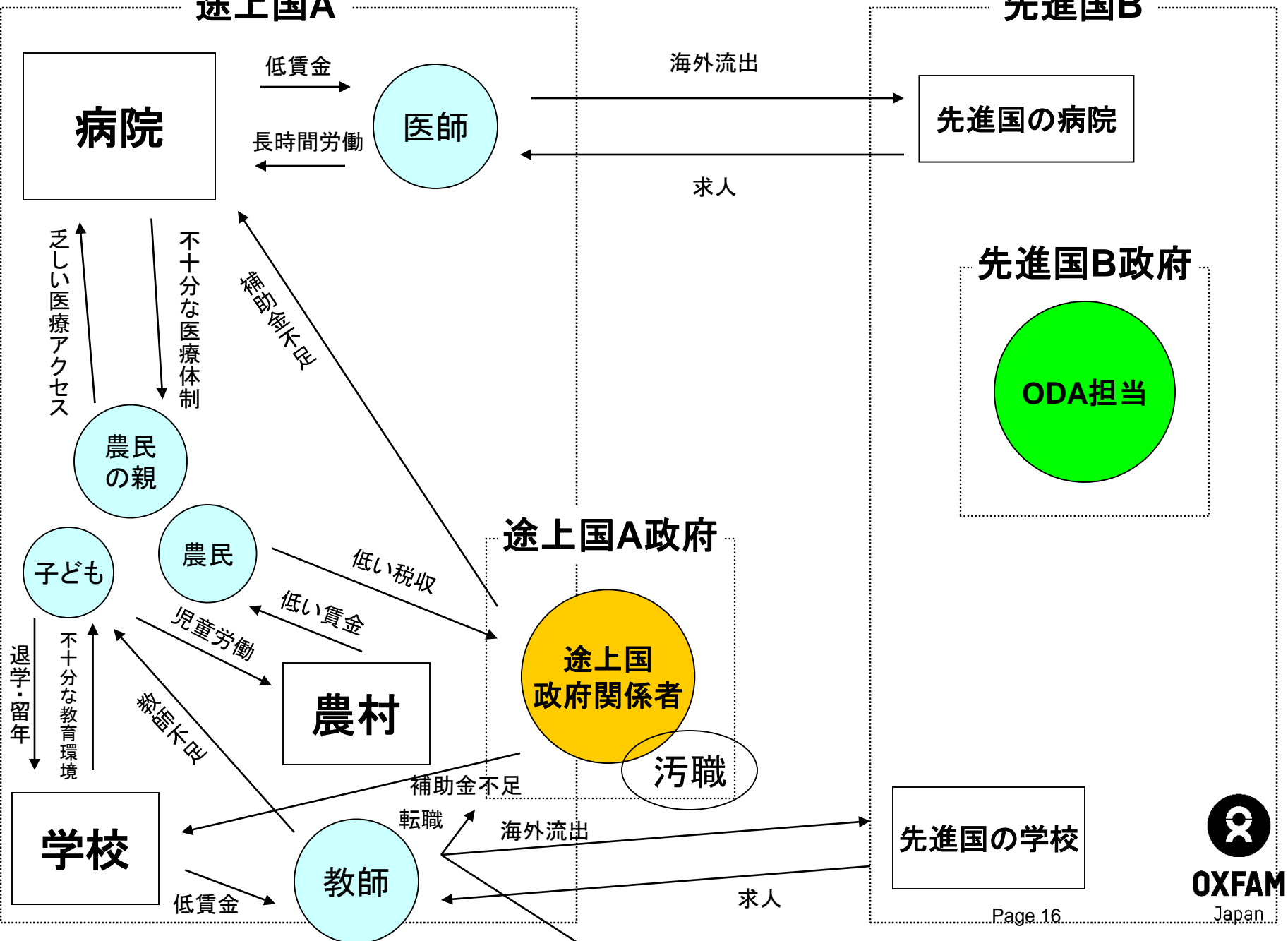
途上国A

先進国B



途上国A

先進国B



途上国A

先進国B

途上国A政府

先進国B政府

途上国
政府関係者

汚職

援助金不足

総理大臣

国会議員

膨大な債務

ODA担当

企業

力をもつ人とその
人への影響力を軸
に先進国の内部を
見てみよう。

世論

メディア

NGO

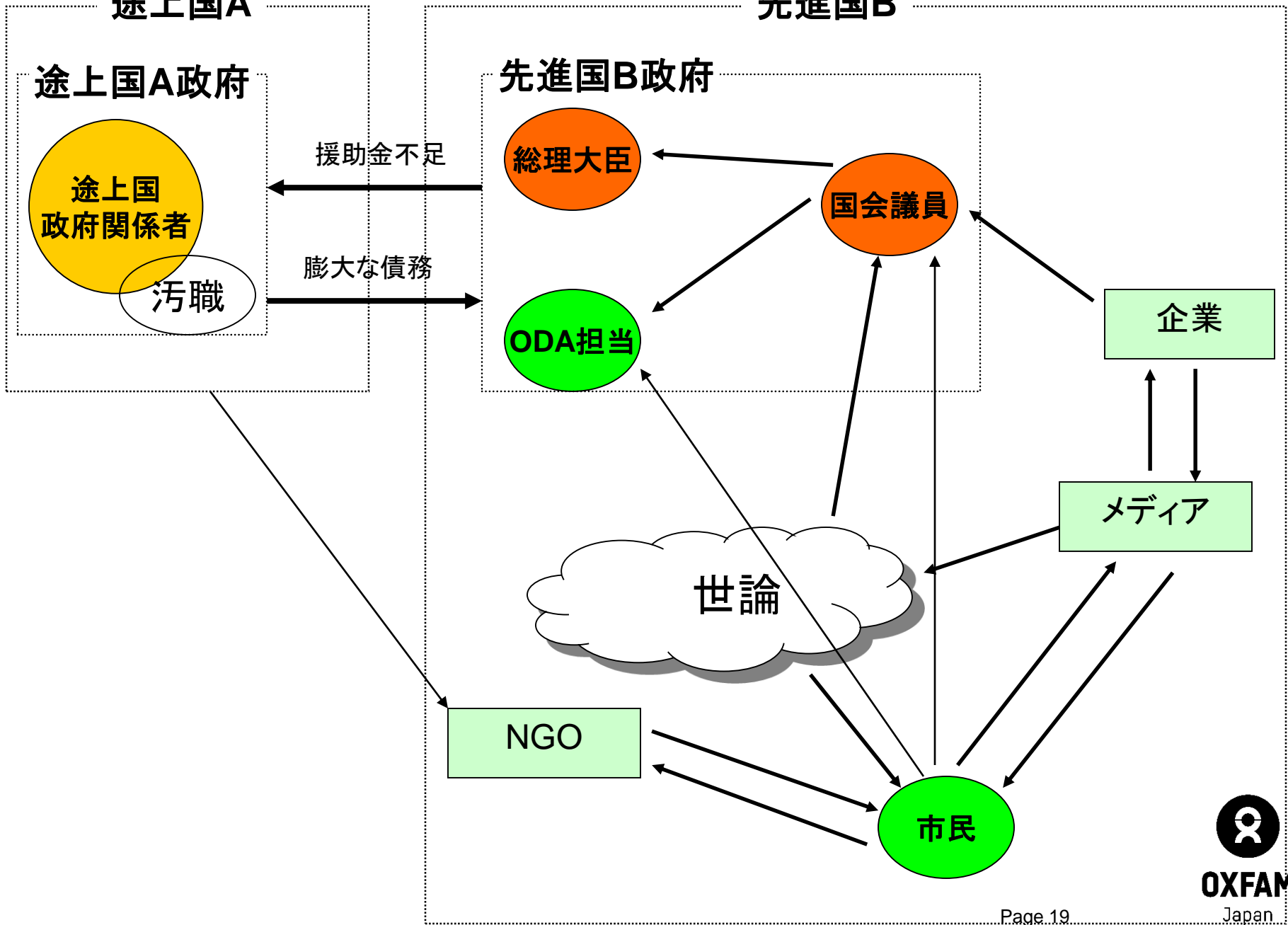
市民

途上国A

先進国B

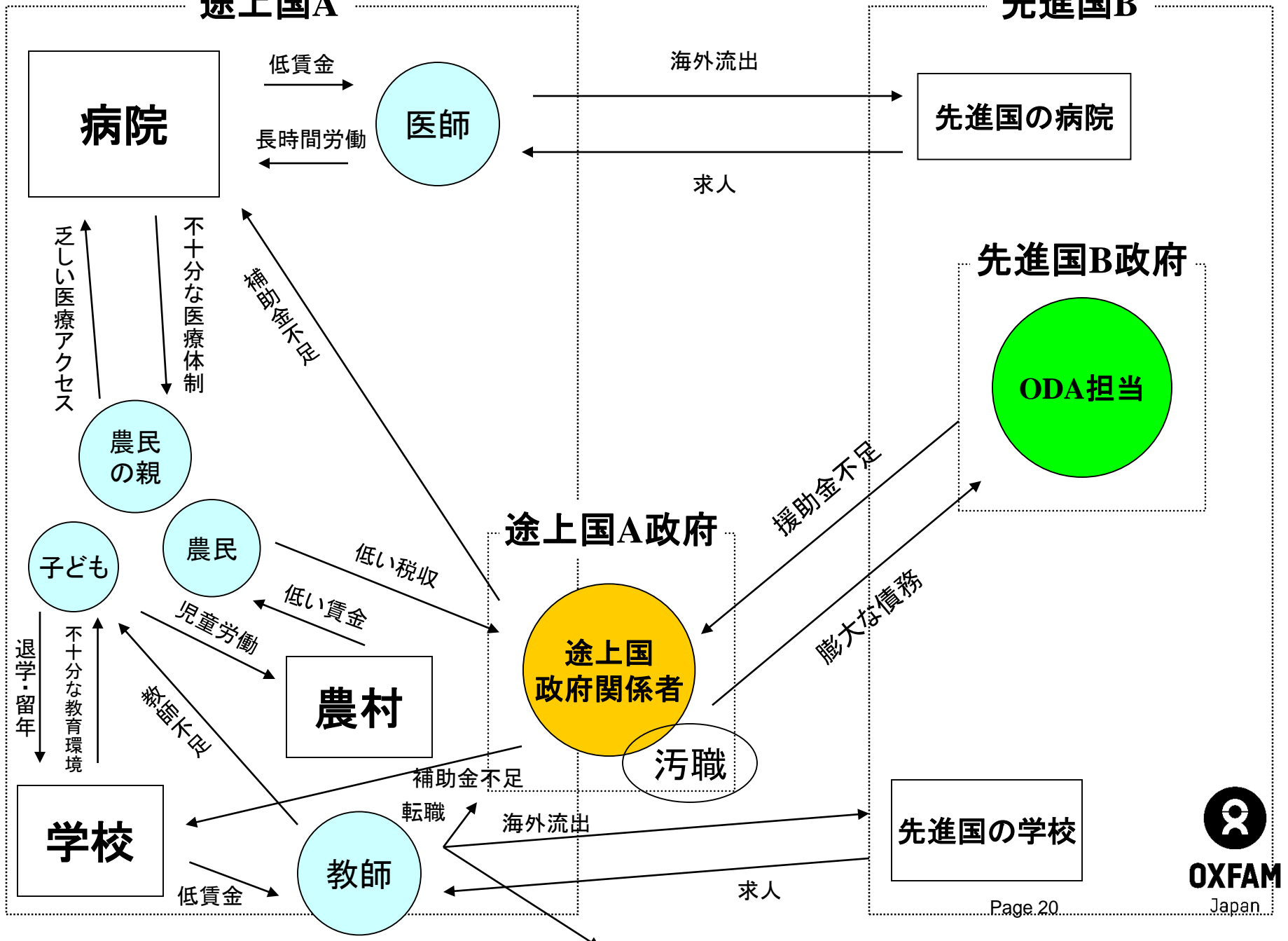
途上国A政府

先進国B政府



途上国A

先進国B

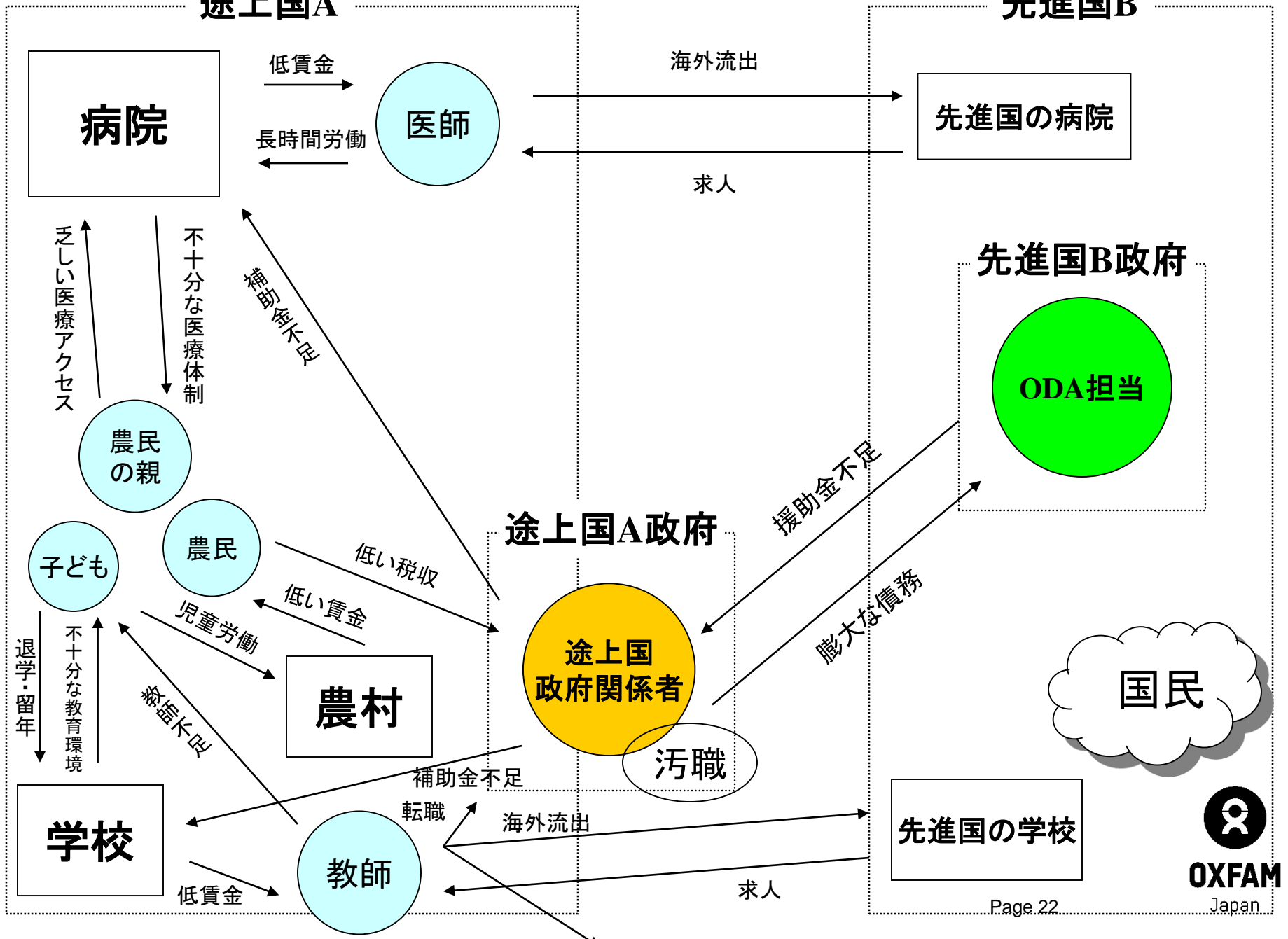


ディスカッション

それぞれの問題に対する
解決策を話し合きましょう

途上国A

先進国B

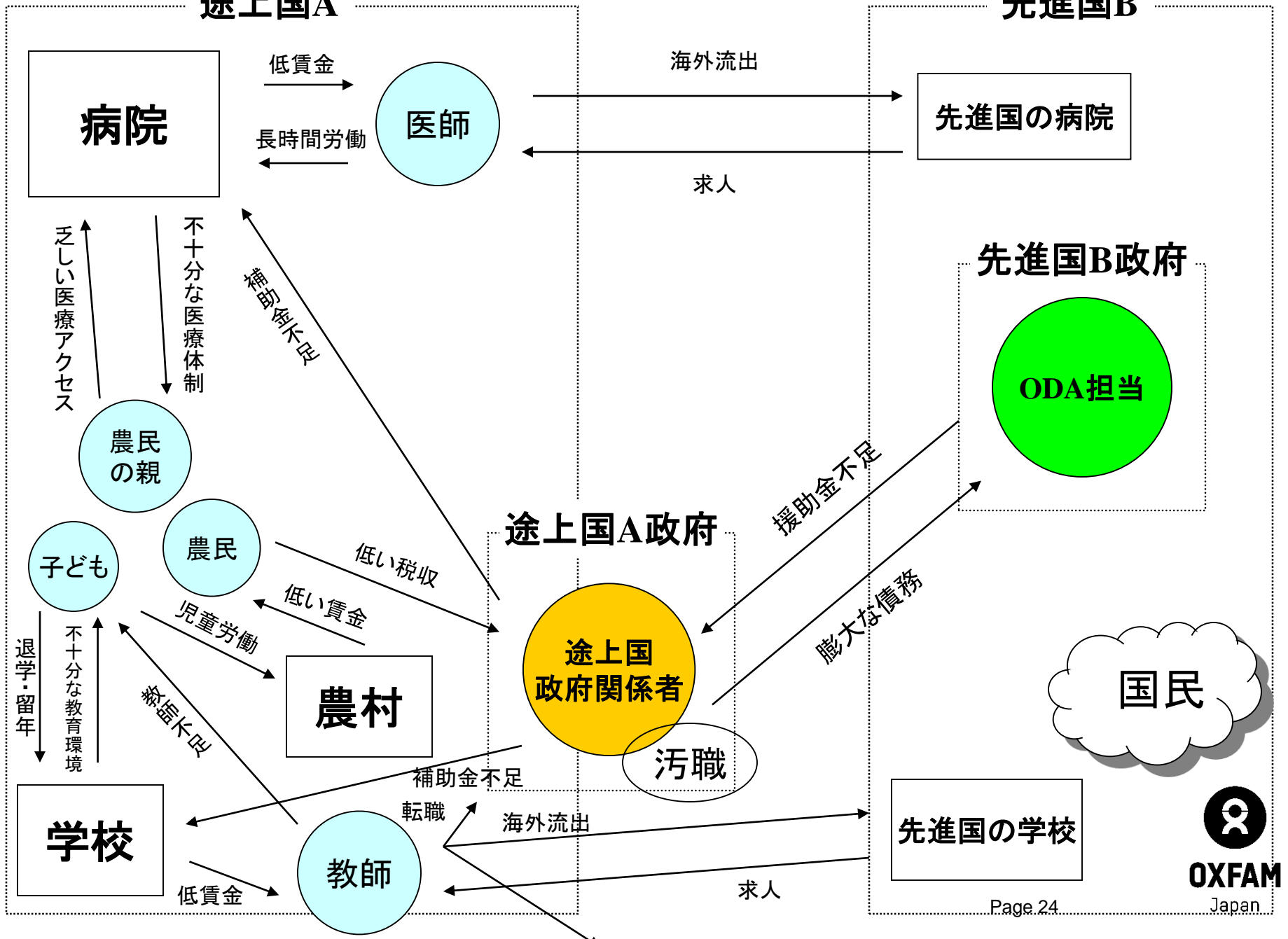


ディスカッション

先進国の図の中に、等身大の「あなた」を置き、一人ひとりが問題解決のために最も効果的な活動を話し合ひましょう

途上国A

先進国B



振り返り

ワークショップを通じて、感じたこと、考えたことをグループごとに話し合しましょう

(必要に応じて全体で共有してください)

特に以下の点を考えてみてください。

途上国内で発生している問題を解決すれば、それで問題解決か？

先進国に住む私たち一人ひとりではないとできないことはあるか？